

The outline of 12th R&D symposium

第12回 JR東日本R&Dシンポジウム 「新幹線のさらなる進化をめざして」について

当社は新たな顧客価値の創造を図るため、「安全性・安定性」、「利便性・快適性」、「コストダウン」、「地球環境への貢献」、「駅における新たな展開」の5つを柱に掲げ、最先端技術の導入による鉄道のシステムチェンジを目指した研究開発を推進しています。その一環として、社会への情報発信と共有化を図り、社会から優れた技術シーズ情報、開発の方向性のご意見を得るために、2006年3月28日に第12回R&Dシンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムでは、「新幹線のさらなる進化をめざして」をテーマとして、高速性、信頼性、環境適合性、快適性などのあらゆる面で最高水準を実現するために当社が取り組んでいる、新幹線の研究開発の取り組みについて発表しました。プログラムについては図1のとおりです。

本誌では、このシンポジウムにおける講演等についてご紹介いたします。

■ プログラム ■

13:30～13:35		
オープニングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 取締役副会長	石田 義雄
13:35～14:25		
基調講演 「高速鉄道 ～鉄道の第二次黄金期到来か～」	レールウェイ・ガゼット・インターナショナル 編集長	マレー・ヒューズ 氏
14:25～14:30		
映像放映 「Frontier Spirits ～次世代新幹線への挑戦(前編)～」		
14:30～15:10		
講演 「次世代新幹線の研究開発の方向とFASTECH360」	東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 所長	小笠原 稔
15:10～15:40		
講演 「新幹線高速化に向けた地上設備の研究開発」	東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター テクニカルセンター 所長	高木 言芳
15:40～15:50		
映像放映 「Frontier Spirits ～次世代新幹線への挑戦(後編)～」		
15:50～16:20		
コーヒーブレイク		
16:20～17:40		
パネルディスカッション 「次世代新幹線に対する期待と展望」	●パネリスト 東京大学 国際・産学共同研究センター 兼 生産技術研究所 教授	須田 義大氏
	首都大学東京 システムデザイン学部 教授 エイアンドエフ株式会社 取締役・デザイン顧問	福田 哲夫氏
	株式会社マックス・ヴァルト研究所 代表取締役社長	横山 雅子氏
	●コーディネーター 東日本旅客鉄道株式会社 技術企画部長 兼 JR 東日本研究開発センター 所長	遠藤 隆
17:40～17:45		
クロージングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長	橋口 誠之

図1：第12回R&Dシンポジウム プログラム